

令和六年度 施政方針

令和六年度を迎えるに当たり、今後の市政運営について、私の考えを御説明申し上げます。

私が、市政を担わせていただき五年八箇月が経過いたしました。

第五次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」に掲げた取組が着実に進み、ほうふの未来が形となって見えてまいりました。

先月、総務省から発表のありました令和五年住民基本台帳人口移動報告によれば、本市は転入超過数が六百三人となっており、二年連続で中四国九県、二百二市町村の中で最も多い市となりました。

これまで、市議会議員の皆様や市民の皆様と一緒に頑張って取り組んできたまちづくりが成果として現れたものと思っております。

令和六年度は、この流れを止めることなく、「未来が開く予算」を編成し、ほうふの未来に向けてまちづくりを進めるとともに、ほうふの未来に向けてこどもたちを全力で応援することとしております。

この度の能登半島地震を受け、改めて防災体制の強化及び安全・安心を第一にしたまちづくりの必要性を痛感したところでございます。

新年度は、山口県防府土木建築事務所や山口県防府保健所、防府市社会福祉協議会なども一体となった、安全・安心の拠点となる新しい庁舎が完成する年です。

十一月に竣工し、年明けからは新庁舎で業務を開始いたします。

佐波川右岸に整備する広域防災広場の隣接地に山口県立総合医療センターの移転・建替えが決まりました。

広域防災広場の整備については、県と調整を図りながら令和七年度の完成に向けて全力で取り組んでまいります。

さらに、公会堂北側に整備する防災広場につきましても、令和七年度の完成を目指して進めてまいります。

加えて、本市の新たな道路網の構築に向けて「防府・未来へのネットワーク構想」を更に進めてまいります。

防府北基地東道路につきましては、国の予算が確保される見通しが立ち、大きく動き出します。

また、これまで山口市などと一体となって国へ要望を行ってまいりました国道二号台道・鑄銭司区間の四車線化は、来年度の事業化が期待されます。

こうした中、このネットワークを活かした産業力の強化を図るため、台道・鑄銭司区間の四車線化を見据え、企業立地の受け皿となる本市初の内陸型産業団地を整備してまいります。

また、今年秋には、ＪＲ西日本のトワイライトエクスプレス瑞風が本市に立ち寄ります。

この瑞風の立寄りを契機とし、乗客が観光される毛利氏庭園や防府天満宮周辺の環境整備を行うとともに、防府駅周辺のさらなるにぎわいを創出するため、鉄道高架下に、「天神口」と「みなと口」をつなぐ交流スペースを整備してまいります。

三年後には、防府天満宮が御神忌千百二十五年式年大祭を迎えます。

毛利氏庭園や周防国分寺、阿弥陀寺など「歴史のまちほうふ」を全国にしっかりと発信し、防府の存在感を高めてまいります。

国においては、次元の異なる少子化対策を進められ、全ての子ども・子育て世帯を切れ目なく支援する「こどもまんなか社会」の実現を目指しています。

これを受け本市では、子供たちを全力で応援することとしております。

新たに「保健こども部」を設置するとともに、全ての妊産婦や子育て世帯、子供への包括的な相談や交流、情報の発信を行う拠点として「こども家庭センター」を開設し、ひとり一人に寄り添った、子育てサービスを提供することとしております。

第二子以降の保育料や高校生までの医療費の無償化、児童手当の大幅拡充、こども誰でも通園事業、きょうだい仲良し事業など、妊娠前から出産、子育てまでの切れ目ない全国に誇れるきめ細かな応援パッケージにより、ほうふの未来を拓く子どもの育成に取り組んでまいります。

今年 は辰年です。

三月十六日には、プリズムストリートも開通します。

天に昇る龍の如く、力強く、勢いよく、ほうふの未来が開けてまいります。

ほうふの明るい未来のため、市議会議員の皆様、市民の皆様と一体となって、全力で取り組んでまいります。

皆様の御理解、御協力をお願い申し上げ、施政方針といたします。